



台風や飛行機で歯が痛む？「気圧性歯痛」にご用心！

時事メディカルさんの記事を紹介します。

<https://medical.jiji.com/topics/4279>



台風の接近時や飛行機への搭乗、登山やダイビングなど、急激な気圧の変化によって歯に痛みを感じる「気圧性歯痛（しゅう）」。岡山大学病院の江国大輔教授によると、未治療の虫歯や詰め物の不具合などが痛みの引き金になるそうです

◆ なぜ気圧が変わると痛むの？

歯の中心には、血管や神経が通る「歯髄腔（しずいくう）」という隙間があります。気圧が急激に低下すると、外気との間に圧力差が生じ、歯髄腔内の空気が膨張して内側から神経を刺激・圧迫するため痛みが発生します。

◆ 健康なお口の人でも油断は禁物！

江国教授らの研究グループが、歯周病ケアを受けている患者約4万8千人の5年間にわたるデータを解析したところ、気圧の大幅な変動から1～3日後に、歯周病による歯茎の痛みや腫れと

いった急性症状が発生しやすいことが分かりました。普段から定期的にプロのケアを受けており、口内が比較的健康に保たれている人であっても、急激な気圧の変化によって急な症状が出る可能性があるのです。



◆ 対策は？定期的な歯科検診を！

気圧性歯痛は病気ではないため確立された予防策はなく、自然に治まるのを待つか鎮痛薬で一時的に対処することになります。ただし、激しい痛みが続いたり、気圧が元に戻っても痛みが引かない場合は、無理せず歯科を受診してください。

「沈黙の病気（サイレント・ディーズ）」とも呼ばれ初期症状が乏しい歯周病や、気づきにくい虫歯を放置しないためにも、お口が健康な方も年に1～2回、リスクのある方は年数回の定期検診を心がけましょう！

2026 08

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 17時まで
2	3	4	5 休診	6	7	8 17時まで
9	10	11 休診	12 休診	13 休診	14 休診	15
16	17	18	19 休診	20	21	22 17時まで
23	24	25	26 休診	27	28	29
30	31					

